三郷市長　木津雅晟様

安倍晋三元首相の「国葬」への対応についての緊急要望書

２０２２年　９月１５日

日本共産党三郷市議団　団長　工藤智加子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　深川智加

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　佐藤智仁

岸田内閣は７月２２日、参議院議員選挙期間中に銃撃を受けてなくなった安倍晋三元首相について、９月２７日に「国葬」を行うことを閣議決定しました。岸田文雄首相は、安倍氏の首相在任期間が最長だったことなどを理由に挙げ「功績はすばらしいものである」とたたえましたが、安倍氏の政治的立場や政治姿勢への評価は国民の間でも分かれています。

　多くのマスコミの世論調査でも「国葬」実施に対する賛否が分かれており、直近の調査では、反対が多数になっているのが実態です。このことは、無法な暴力で殺害された安倍元首相に追悼の気持ちをもっている人のなかにも、葬儀費用だけで2億５千万円もの税金を投入することへの疑問が広がっています。

　こうした国民の間での評価が分かれている安倍元首相の「国葬」を行うことは、安倍氏の政治的立場や政治姿勢を国家として礼賛・賛美することにつながり、国民に対して弔意を事実上強制することになります。これは憲法14条「法の下の平等」憲法19条「思想・良心に自由」に反するものだと強く懸念されるところです。

　以上のことから下記事項について要望いたします。

1. 内閣府からの要請があっても国葬儀に参加することを見合わせること。
2. 公共施設に半旗の掲揚や職員に弔意を求める指示を出さないこと。
3. 市民に対して弔意の表明を強制しないこと。